

2015年2月16日

就職みらい研究所

株式会社 リクルート キャリア

就職白書2015 ー採用活動・就職活動編ー

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水谷 智之）のよりよい就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、企業の新卒採用活動および学生の就職活動の実態を明らかにするため、全国の新卒採用を実施している企業と、就職活動を行った2015年卒予定の大学4年生・大学院2年生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【2015年卒の新卒採用活動の総括】＜企業＞

- 12月時点での2015年卒の採用数は、「採用数充足・計」は55.8%と半数を超えたものの、前年と比較すると3.1ポイント減少。一方、未充足企業は42.6%で、前年より3.4ポイント増加した。
- 2015年卒の入社予定者への満足度は、「満足・計」が68.0%、「不満・計」は10.8%となった。
- 『面接者数を100』とした場合、「内定出し者数」は15.5、「内定者数」は9.6で、いずれも前年より大きな値となった。また、『内定出し者数を100』とした場合、「内定辞退者数」は38.0、「内定者数」は62.0。前年と比較すると、「内定辞退者数」は2.5高くなった一方、「内定者数」は2.5低くなった。

【2015年卒の就職活動の総括】＜学生＞

- 民間企業を対象に就職活動を行った学生のうち、12月時点で就職が決まっている人である「就職・計」は84.5%と、前年の77.9%より6.6ポイント増加。一方「まだ確定している進路はない」は10.1%と前年の15.9%よりも5.8ポイント減少した。
- 就職先が確定している学生の入社予定企業への満足度は、「満足・計」が79.9%となった一方、「不満・計」は5.5%で、「満足・計」が圧倒的に高かった。

【2016年卒の新卒採用活動の展望】＜企業＞

- 採用活動時期が変更となる2016年卒採用について、「新卒採用できる人数」は「変わらないと思う」とした企業が半数強を占めた一方、「減ると思う」とする企業も4割強であった。また「内定辞退者数」が「増えると思う」と予想している企業は6割近くに上った。
- 『採用広報』の活動開始時期について、「採用に関する情報の提供」は、約8割の企業が「2015年3月」としており、2015年卒の「2013年12月」とほぼ同水準であった。
- 『採用選考』について、「面接」「内々定・内定出し」の開始ピークはいずれも「2015年8月」で、2015年卒の「2014年4月」から4か月遅れとなった。いわゆる「選考解禁前」までに「面接」「内々定・内定出し」を開始予定の企業の割合は、2016年卒でそれぞれ65.6%、52.2%で2015年卒と比較すると、「面接」で22.2ポイント、「内々定・内定出し」で36.5ポイント増加している。
- 『採用選考』の開始時期について、「未定」とする企業は4割弱に上った。
- 採用数が満たなかった場合の対応については、「採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」が49.5%と半数近くで、「採用数を満たすために基準を見直し、柔軟に対応する」は13.1%となった。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 広報グループ宛

Mail : kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
I. 2015年卒の新卒採用活動の総括 <企業>	3~6
1) 採用計画の結果/入社予定者への満足度	3
2) 採用活動プロセス毎の実施状況	4
3) 採用活動スケジュール　ープロセス毎の開始時期ー	5
4) 面接から内定までの状況	6
II. 2015年卒の就職活動の総括 <学生>	7~10
1) 進路確定の状況/入社予定企業への満足度	7
2) 就職活動プロセス毎の実施状況/就職活動中の情報収集	8
3) 就職活動プロセス毎の開始時期	9
4) 企業を選ぶときにもっとも重視した条件	10
5) 内定の取得および辞退状況	10
III. 企業と学生とのギャップ <企業・学生>	11~12
1) 企業の応募学生に対する評価、学生の自己評価	11
2) 企業が採用基準で重視する項目、学生が面接等でアピールする項目	12
IV. 2016年卒の新卒採用活動の展望 <企業>	13~17
1) 2016年卒以降の採用スケジュール変更による影響の見通し	13
2) 採用活動スケジュールの2015年卒と2016年卒との比較	14
3) 採用基準の見通し/採用数が満たなかった場合の対応予定	16
4) 外国人留学生等の採用実施の見通し	17

【調査概要】

今回調査：就職白書2015

【企業調査】

2015年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する

調査方法：郵送法

調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業3,989社

調査期間：2014年12月13日～2015年1月29日

回収社数：1,184社（回収率29.7%）

【学生調査】

2015年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する

調査方法：WEBアンケート

ー調査協力：株式会社インテージ

調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女3,175人を対象

調査期間：2015年1月5日～2015年1月14日

集計対象：2,539人（回収率80.0%）

前回調査：就職白書2014

【企業調査】

2014年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する

調査方法：郵送法

調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,303社

調査期間：2013年12月11日～2014年1月31日

回収社数：1,332社（回収率31.0%）

【学生調査】

2014年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する

調査方法：WEBアンケート

ー調査協力：株式会社クロス・マーケティング

調査対象：クロス・マーケティング社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女8,672人を対象

調査期間：2014年1月6日～2014年1月19日

集計対象：1,610人（回収率18.6%）

《集計方法について》

■ 学生調査

大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体の構成比が実際の母集団に近づくよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。大学生と大学院生を合わせた学生全体については、大学生と大学院生の構成比に関して、同様のウェイトバック集計を行ったため、大学生と大学院生の合計値が、学生全体の値と一致しない。

《調査結果を見る際の注意点》

■ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

■ 図表の一部で、今回調査と前回調査のポイント差をカッコ内に記載した。

例：14.2% (-6.7) の場合、前回調査より6.7ポイント減少。

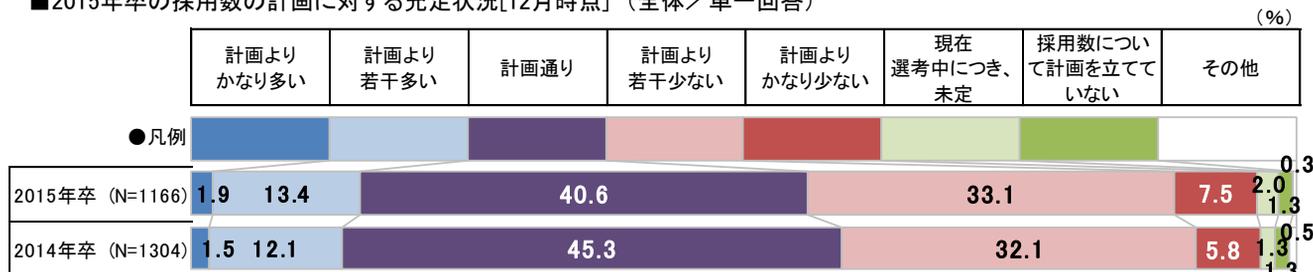
《その他》

■ 2015年卒業や2016年卒業を「2015年卒」「2016年卒」と表記。

1) 採用計画の結果／入社予定者への満足度

12月時点での2015年卒の採用数は「計画通り」が40.6%で、「計画より若干多い」の13.4%、「計画よりかなり多い」の1.9%を合わせた「採用数充足・計」は55.8%と、半数を超えたものの、前年と比較すると3.1ポイント減少した。一方、未充足企業は、「計画より若干少ない」33.1%、「計画よりかなり少ない」7.5%、「現在選考中につき、未定」2.0%を合わせて42.6%となり、前年より3.4ポイント増加した。従業員規模別に、充足状況を前年と比較すると、どの規模も前年よりも下回っているが、特に5000人以上企業は、8.5ポイント減少した。

■2015年卒の採用数の計画に対する充足状況[12月時点] (全体／単一回答)



□従業員規模・業種別 2015年卒の採用数の計画に対する充足状況[12月時点] ※「その他」は割愛

	全体 (N=今回/前回)	採用数充足・計			採用数未充足・計			現在選考中につき、未定	採用数について計画を立てていない		
		計画よりかなり多い	計画より若干多い	計画通り	計画より若干少ない	計画よりかなり少ない	採用数未充足・計				
全体	1166/1304	55.8 (-3.1)	1.9 (0.4)	13.4 (1.3)	40.6 (-4.8)	42.6 (3.4)	33.1 (1.0)	7.5 (1.7)	2.0 (0.7)	1.3 (-0.0)	
従業員規模	300人未満	224/287	53.6 (-5.0)	2.2 (0.5)	11.2 (1.8)	40.2 (-7.2)	42.9 (4.9)	29.5 (0.5)	10.3 (3.0)	3.1 (1.4)	2.7 (0.9)
	300~999人	418/422	53.8 (-0.9)	2.4 (0.0)	15.6 (2.8)	35.9 (-3.7)	44.5 (1.8)	34.9 (1.5)	8.1 (0.6)	1.4 (-0.2)	1.4 (-0.7)
	1000~4999人	376/361	58.8 (-2.2)	1.6 (1.3)	13.6 (-0.3)	43.6 (-3.2)	41.0 (2.2)	33.5 (-0.3)	5.9 (1.4)	1.6 (1.0)	0.3 (-0.0)
	5000人以上	125/93	59.2 (-8.5)	0.8 (-0.3)	10.4 (0.7)	48.0 (-9.0)	40.0 (7.7)	31.2 (4.3)	6.4 (2.1)	2.4 (1.3)	0.8 (0.8)
業種	建設業	75/85	45.3 (15.9)	2.7 (1.5)	20.0 (12.9)	22.7 (1.5)	52.0 (-15.1)	37.3 (-18.0)	12.0 (1.4)	2.7 (1.5)	1.3 (1.3)
	製造業	428/433	64.0 (2.8)	1.6 (0.0)	15.0 (0.4)	47.4 (2.4)	34.8 (-1.7)	29.2 (-3.4)	4.4 (1.0)	1.2 (0.7)	0.9 (-1.4)
	流通業	219/243	51.6 (-3.5)	3.2 (2.0)	11.4 (-0.5)	37.0 (-5.0)	47.9 (4.3)	37.9 (3.7)	8.2 (1.2)	1.8 (-0.6)	0.5 (-0.4)
	金融業	140/140	59.3 (-9.3)	0.7 (-0.7)	10.7 (-3.6)	47.9 (-5.0)	37.9 (7.1)	34.3 (5.7)	3.6 (1.4)	— (-)	2.1 (1.4)
	サービス・情報	284/342	48.2 (-12.6)	1.8 (0.3)	12.3 (2.4)	34.2 (-15.3)	50.0 (12.6)	33.5 (6.3)	12.7 (3.9)	3.9 (2.4)	1.8 (0.9)

2015年卒の入社予定者への満足度は、「非常に満足」「どちらかという満足」の「満足・計」が68.0%、「どちらかという不満」「非常に不満」の「不満・計」は10.8%となった。従業員規模別に見ると、5000人以上企業で「満足・計」が他の規模よりも高い。また、前年との比較でも、他の規模は前年とほぼ同水準であるが、5000人以上企業では、前年よりも3.4ポイント増加した。

■2015年卒の入社予定者への満足度(全体／単一回答)



□従業員規模別 2015年卒の入社予定者への満足度

	全体 (N=今回/前回)	満足度					満足・計	不満・計	
		非常に満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	非常に不満			
全体	N=1151/1302	14.5 (-1.1)	53.5 (1.8)	21.2 (1.0)	9.3 (-1.6)	1.5 (-0.1)	68.0 (0.7)	10.8 (-1.7)	
従業員規模	300人未満	N=222/290	17.6 (1.4)	45.5 (-1.1)	21.2 (0.5)	13.1 (0.6)	2.7 (-1.4)	63.1 (0.3)	15.8 (-0.8)
	300~999人	N=410/419	14.6 (-2.1)	52.7 (1.4)	22.0 (1.4)	9.0 (-0.8)	1.7 (0.0)	67.3 (-0.7)	10.7 (-0.7)
	1000~4999人	N=371/361	12.1 (-0.6)	59.0 (1.1)	20.8 (1.9)	7.8 (-2.4)	0.3 (-0.0)	71.2 (0.5)	8.1 (-2.4)
	5000人以上	N=125/93	17.6 (-1.8)	56.8 (5.2)	16.8 (-2.6)	7.2 (-2.5)	1.6 (1.6)	74.4 (3.4)	8.8 (-0.9)

※カッコ内の数値は前回調査との差
 ※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模や業種不明・無回答企業があるため、規模別、業種別の計と全体は一致しない

2) 採用活動プロセス毎の実施状況

採用活動プロセス毎の実施率は、「プレントリー」で前年と比べて減少し、その減少幅は、従業員規模が小さいほど大きくなった。一方、「説明会・セミナー」「適性検査・筆記試験」の実施率はわずかに増加し、特に300人未満企業で、それぞれ5.5ポイント、3.6ポイントの増加となった。

■採用活動プロセス毎の実施率(全体/それぞれ単一回答)

(%)

	実施率		従業員規模			
	全体 (N=1169)		300人未満 (N=226)	300~999人 (N=418)	1000~4999人 (N=376)	5000人以上 (N=126)
プレントリー(採用情報・資料の請求)受け付け	78.5 (-17.6)		64.6 (-23.0)	77.5 (-20.4)	83.5 (-16.2)	91.3 (-8.7)
説明会・セミナー	98.7 (1.2)		96.9 (5.5)	98.6 (-0.3)	100.0 (0.0)	99.2 (0.3)
書類選考(エントリーシート、履歴書、作文等)	88.8 (-2.1)		89.4 (-0.7)	89.0 (-1.4)	88.3 (-3.7)	90.5 (-4.1)
適性検査・筆記試験	96.7 (0.6)		92.9 (3.6)	97.4 (-0.3)	97.6 (-0.5)	98.4 (-0.5)
面接	99.9 (0.1)		99.6 (0.2)	100.0 (0.0)	100.0 (0.3)	100.0 (0.0)
内々定・内定出し	99.3 (-0.5)		96.9 (-2.1)	100.0 (0.0)	99.7 (-0.3)	100.0 (0.0)
参考) インターンシップ(2014年度予定含む)	55.5 (9.5)		36.2 (2.5)	52.0 (11.3)	61.4 (10.0)	82.4 (14.6)

※「インターンシップ」(N=1054) 前年度実施状況は、今回調査での結果

説明会・セミナーの形態別の実施状況を見ると、「自社の説明会・セミナー(対面)」は、いずれの従業員規模も極めて高い値である。また、「合同説明会・セミナー(特定学校で開催)」は、300人未満企業以外で、すべて9割を超える高水準となった。「合同説明会・セミナー(その他)」も全体で前年より2.0ポイント増加、5000人以上企業では4.8ポイント増加となった。

■説明会・セミナーの形態別の実施状況(「説明会・セミナー」実施企業/それぞれ単一回答)

(%)

		N	自社の説明会・ セミナー(対面)	自社の説明会・ セミナー (Web上)	合同説明会・セ ミナー(特定学 校で開催)	合同説明会・セ ミナー(その他)
全体		1133	96.6 (1.2)	28.7 (-0.5)	87.6 (1.8)	75.2 (2.0)
従業員 規模	300人未満	210	90.5 (2.2)	21.4 (-6.1)	66.7 (-1.3)	63.3 (-4.7)
	300~999人	408	96.6 (0.9)	27.5 (-1.4)	90.2 (3.3)	73.0 (1.7)
	1000~4999人	372	99.7 (1.1)	29.6 (1.0)	94.1 (1.6)	79.0 (2.4)
	5000人以上	121	99.2 (0.3)	39.7 (0.5)	95.0 (-0.6)	91.7 (4.8)

書類選考を実施している企業のうち、エントリーシートを導入しているのは全体では65.7%であり、いずれの従業員規模や業種においても、「導入している」企業の割合が「導入していない」企業を上回った。業種別で見ると、「金融業」「情報・サービス業」では、前年よりも減少している一方で、「建設業」では前年よりも7.0ポイント増加した。

■エントリーシートの導入状況(「書類選考」実施企業/単一回答)

(%)

		N	導入している
全体		984	65.7 (-1.1)
従業員 規模	1000人未満	545	59.4 (-1.1)
	1000人以上	422	74.9 (-3.5)
業種	建設業	61	55.7 (7.0)
	製造業	383	71.8 (1.3)
	流通業	175	62.3 (-0.2)
	金融業	111	66.7 (-4.9)
	情報・サービス業	239	61.9 (-5.6)

※カッコ内の数値は前回調査との差

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種不明・無回答企業があるため、規模別、業種別の計と全体は一致しない

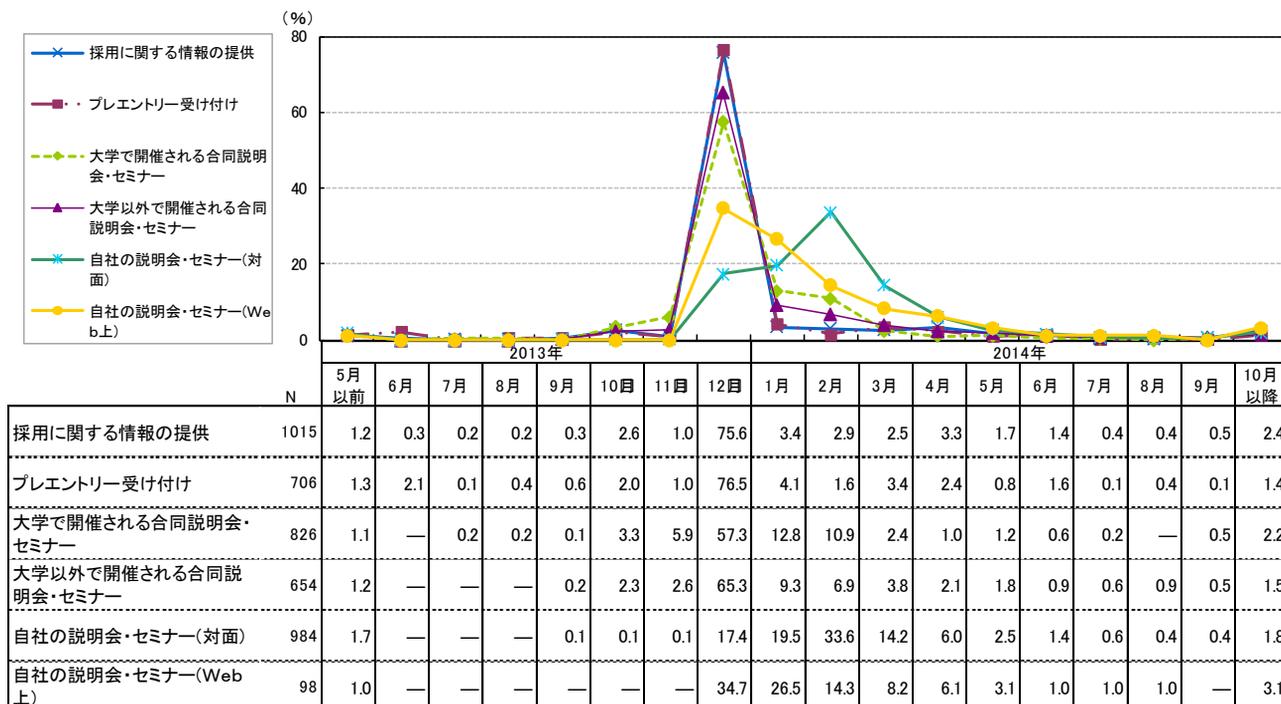
3) 採用活動スケジュール —プロセス毎の開始時期—

採用活動プロセス毎の開始時期で、開始した企業がもっとも多い月を見る。

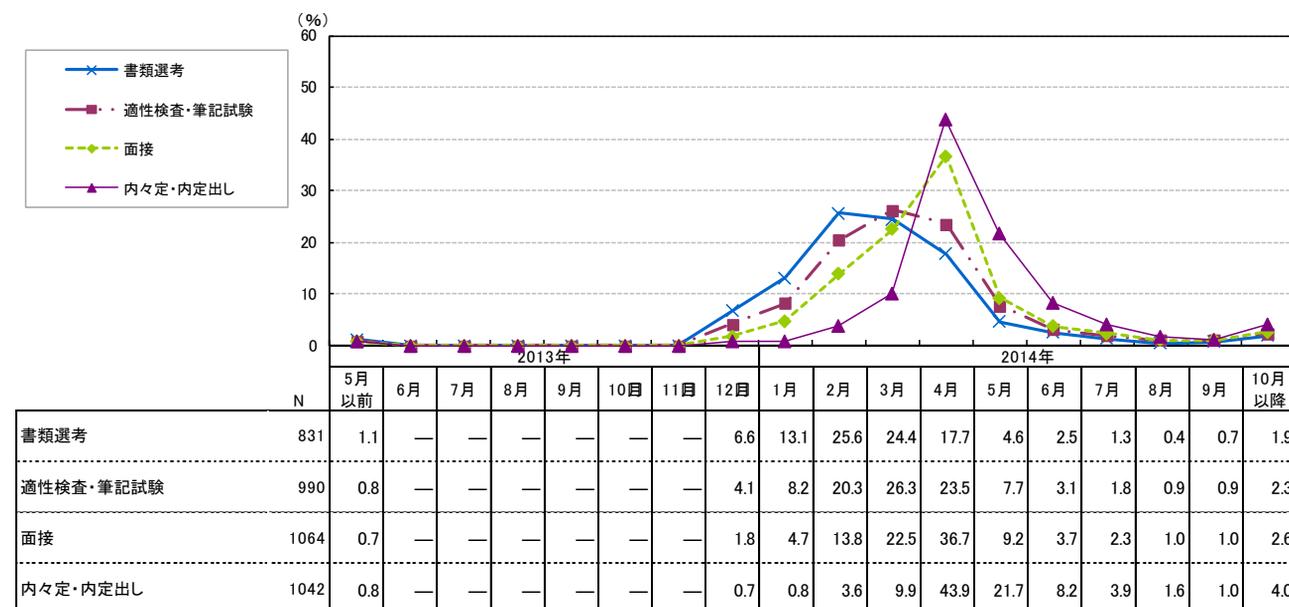
まず『採用広報』について、「採用に関する情報の提供」「プレエントリー受け付け」「大学で開催される合同説明会・セミナー」「大学以外で開催される合同説明会・セミナー」「自社の説明会・セミナー（Web上）」は「2013年12月」、「自社の説明会・セミナー（対面）」は「2014年2月」であった。

次に、『採用選考』について見ると、「書類選考」は「2014年2月」、「適性検査・筆記試験」は「2014年3月」、「面接」「内々定・内定出し」は「2014年4月」であった。

■採用活動プロセス毎の開始時期(実績) <採用広報> (全体/それぞれ数量回答)



■採用活動プロセス毎の開始時期(実績) <採用選考> (全体/それぞれ数量回答)



※データは無回答サンプルを除いて集計

4) 面接から内定までの状況

面接から内定までについて、『面接者数を100』とした場合で見ると、「内定出し者数」は15.5、「内定者数」は9.6となった。前年と比較すると、内定出し者数および内定者数ともに、前年より高くなっている。

従業員規模別に見ると、規模が大きくなるにつれて、「内定出し者数」「内定者数」いずれにおいても、規模が大きくなるにつれて高くなった。

前年と比較すると、5000人以上企業以外は、「内定出し者数」「内定者数」とともに、前年よりも高くなった。

業種別に見ると、流通業は、「内定出し者数」が19.2と前年よりも7.5高くなり、「内定者数」も3.8高くなった。サービス・情報業も「内定出し者数」19.2と、前年よりも5.3高く、「内定者数」も2.5高くなった。しかし、建設業は「内定出し者数」が16.4と前年の21.4よりも5.0低く、「内定者数」も11.0と前年の13.8よりも2.8低くなった。

■「面接者数を100」とした場合の内定出し者数および内定者数の割合(面接から内定まで全回答企業/実数回答)

□2015年卒(全回答企業1008社) 2014年卒(全回答企業1109社)

	面接者数	2015年卒		2014年卒		15年卒-14年卒		
		内定出し者数	内定者数	内定出し者数	内定者数	内定出し者数	内定者数	
全体	100	15.5	9.6	12.7	8.2	2.8	1.4	
従業員規模	300人未満	100	13.7	9.2	11.4	7.7	2.2	1.5
	300~999人	100	14.5	9.3	11.8	7.8	2.7	1.5
	1000~4999人	100	15.7	9.7	13.4	8.6	2.3	1.1
	5000人以上	100	16.3	9.8	15.6	10.0	0.7	-0.2
業種	建設業	100	16.4	11.0	21.4	13.8	-5.0	-2.8
	製造業	100	11.9	8.4	11.0	7.6	0.9	0.8
	流通業	100	19.2	10.9	11.7	7.1	7.5	3.8
	金融業	100	13.5	8.3	12.2	8.2	1.3	0.1
	サービス・情報業	100	19.2	11.0	13.9	8.4	5.3	2.5

次に、『内定出し者数を100』とした場合で見ると、「内定辞退者数」は38.0、「内定者数」は62.0となった。前年と比較すると、「内定辞退者数」は2.5高くなった一方、「内定者数」は2.5低くなった。

従業員規模別に見ると、「内定辞退者数」は、規模が大きくなるにつれて高くなっているが、「内定者数」はその逆となっている。

業種別に見ると、流通業とサービス・情報業の「内定辞退者数」は、それぞれ43.3、43.0と他の業種よりも高く、「内定辞退者数」は前年よりもそれぞれ4.2、3.7高くなっている。前年よりも「内定辞退者数」がもっとも高くなっているのは金融業で、前年の32.7から38.3と、5.7高くなった。

■「内定出し者数を100」とした場合の内定辞退者数および内定者数の割合(面接から内定まで全回答企業/実数回答)

□2015年卒(全回答企業1008社) 2014年卒(全回答企業1109社)

	内定出し者数	2015年卒		2014年卒		15年卒-14年卒		
		内定辞退者数	内定者数	内定辞退者数	内定者数	内定辞退者数	内定者数	
全体	100	38.0	62.0	35.5	64.5	2.5	-2.5	
従業員規模	300人未満	100	32.9	67.1	32.8	67.2	0.1	-0.1
	300~999人	100	35.9	64.1	33.7	66.3	2.1	-2.1
	1000~4999人	100	38.4	61.6	36.0	64.0	2.5	-2.5
	5000人以上	100	39.7	60.3	36.0	64.0	3.7	-3.7
業種	建設業	100	33.2	66.8	35.6	64.4	-2.4	2.4
	製造業	100	29.4	70.6	31.1	68.9	-1.7	1.7
	流通業	100	43.3	56.7	39.1	60.9	4.2	-4.2
	金融業	100	38.3	61.7	32.7	67.3	5.7	-5.7
	サービス・情報業	100	43.0	57.0	39.3	60.7	3.7	-3.7

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種の不明・無回答企業があるため、規模別や業種別の計と全体は一致しない

1) 進路確定の状況/入社予定企業への満足度

民間企業を対象に就職活動を行った学生のうち、12月時点で「民間企業に就職する」ことが確定しているのは77.1%で、前年の72.2%よりも4.9ポイント増加、「民間企業以外に就職する」を合わせた「就職・計」は84.5%と、前年の77.9%より6.6ポイント増加した。一方「まだ確定している進路はない」は10.1%と前年の15.9%よりも5.8ポイント減少した。

■民間企業を対象に就職活動を行った学生の進路の確定状況 [12月時点](学生全体/単一回答)



□学校種および文理別に見た進路の確定状況 [12月時点]

		就職・計	民間企業に就職する	民間企業以外(公務員、教員、その他団体職員などに就職する)	起業する	大学院などへ進学する	留学する	留年するので卒業しない	まだ確定している進路はない
N=今回/前回									
大学生	文系 1458/843	83.8 (7.6)	77.1 (6.9)	6.7 (0.7)	0.1 (0.0)	1.3 (0.4)	0.2 (-0.1)	1.3 (-0.6)	12.3 (-8.0)
	理系 727/411	83.8 (5.9)	75.4 (3.5)	8.5 (2.5)	0.2 (0.2)	6.9 (-2.8)	— (0.0)	1.2 (-0.3)	7.1 (-2.5)
大学院生	文系 56/51	64.3 (-0.4)	51.8 (-1.1)	12.5 (0.7)	— (-2.0)	5.4 (3.4)	— (0.0)	3.6 (-2.3)	26.8 (3.3)
	理系 298/305	94.3 (3.5)	87.2 (-1.0)	7.0 (4.4)	— (-0.3)	1.0 (-0.6)	— (0.0)	2.0 (1.7)	2.3 (-4.6)

※「その他」は割愛

就職先が確定している学生の上社予定企業への満足度は、「非常に満足」「どちらかという満足」の「満足・計」が79.9%となった。一方「どちらかという不満」「非常に不満」の「不満・計」は5.5%で、「満足・計」が圧倒的に高かった。

■就職先が確定している学生の上社予定企業への満足度(就職先確定者/単一回答)



□学校種および文理別の上社予定企業への満足度

		非常に満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	非常に不満	満足・計	不満・計
N=今回/前回 *参考値								
大学生	文系 1222/643	28.4 (-2.9)	49.1 (3.1)	16.1 (-0.6)	4.6 (0.0)	1.9 (0.6)	77.4 (0.1)	6.5 (0.5)
	理系 609/320	34.3 (0.5)	47.5 (1.0)	13.7 (-0.5)	4.1 (-1.3)	0.4 (0.2)	81.8 (1.5)	4.5 (-1.1)
大学院生	文系 *36/ *33	38.9 (-15.6)	44.4 (8.0)	13.9 (13.9)	2.8 (-0.2)	— (-6.1)	83.3 (-7.6)	2.8 (-6.3)
	理系 281/277	47.7 (5.1)	40.2 (-5.3)	9.3 (0.6)	2.5 (0.0)	0.4 (-0.3)	87.9 (-0.2)	2.8 (-0.4)

※カッコ内の数値は前回調査との差

2) 就職活動プロセス毎の実施状況/就職活動中の情報収集

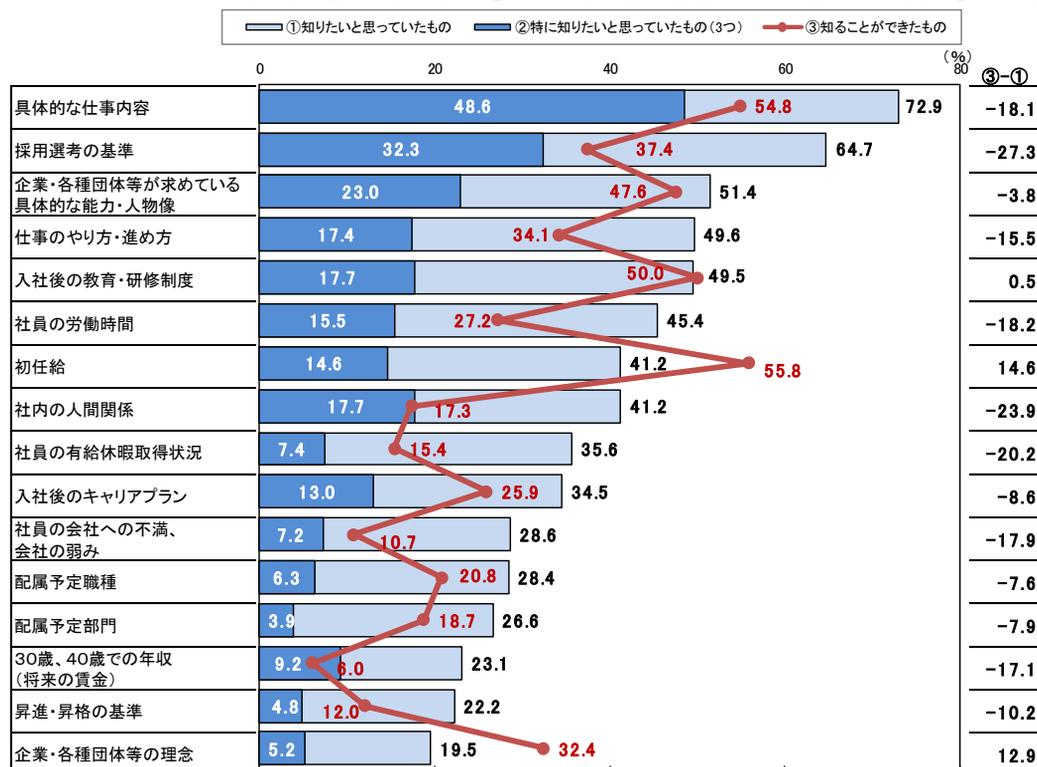
就職活動プロセス毎の実施率を見ると、前年との差がもっとも大きいのは「エントリーをする」で、15.6ポイント減少した。各プロセス実施者の平均実施数を見ると、全体的に減少が見られる中、「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加する」回数が増加した。
各プロセスの実施数が減少した中、「内々定・内定を取得する」の社数は2.02社と、前年よりも若干ではあるが増加となった。

■就職活動プロセス毎の実施状況 (実施率: 学生全体/それぞれ単一回答、平均数の対象: 各プロセスを実施した学生/実数回答)

	実施率 (%)		平均数 (実施者ベース)	
	N=今回/前回	2539/1610	2015年卒	2014年卒
就職に関する情報を収集する		83.2 (-3.3)		
OB・OGなど社会人の先輩を訪問する		16.9 (-11.1)	N=429 2.87社 4.13人	N=450 6.11社 7.30人
リクレーターと接触する		16.3 (-11.9)	N=415 4.06社 7.13人	N=455 6.33社 7.65人
プレエントリー (採用情報・資料の請求、企業への個人情報提供) をする		58.2 (-15.6)	N=1477 56.30社	N=1187 60.17社
大学で開催される合同説明会・セミナーに参加する		65.7 (-4.0)	N=1669 6.17回	N=1122 6.09回
大学以外で開催される合同説明会・セミナーに参加する		62.3 (-4.3)	N=1581 5.73回	N=1072 6.24回
個別企業の説明会・セミナー	対面 (社内、会場など) で開催されるものに参加する	58.6 (-3.6)	N=1487 18.89社	N=1002 20.10社
	Web上で開催されるものに参加する	27.9 (-13.3)	N=707 3.77社	N=663 3.84社
エントリーシートなどの書類を提出する		72.1 (-2.8)	N=1830 19.43社	N=1206 20.99社
適性検査・筆記試験を受ける		72.6 (-1.6)	N=1844 12.77社	N=1194 14.66社
面接など対面での選考を受ける		74.2 (-0.9)	N=1883 10.06社	N=1209 11.26社
内々定・内定を取得する		78.7 (-1.0)	N=1998 2.02社	N=1283 1.85社
参考) インターンシップへの参加		26.9 (3.0)	N=683 1.63社	N=384 1.64社

就職活動中の学生が『知りたいと思っていた』情報は「具体的な仕事内容」72.9%、「採用選考の基準」64.7%、「企業・各種団体等が求めている具体的な能力・人物像」51.4%、がトップ3となった。
また『知ることができたもの』も尋ねたが、『知りたいと思っていた』と『知ることができた』のギャップが大きいものは順に「採用選考の基準」(-27.3ポイント)、「社内の人間関係」(-23.9ポイント)、「社員の有給休暇取得状況」(-20.2ポイント)となった。

■就職活動中の情報収集 (学生全体/「知りたいと思っていたもの」: 複数回答、
「特に知りたいと思っていたもの」: 3つまでの複数回答、「知ることができたもの」: 複数回答)



※カッコ内の数値は前回調査との差

3) 就職活動プロセス毎の開始時期

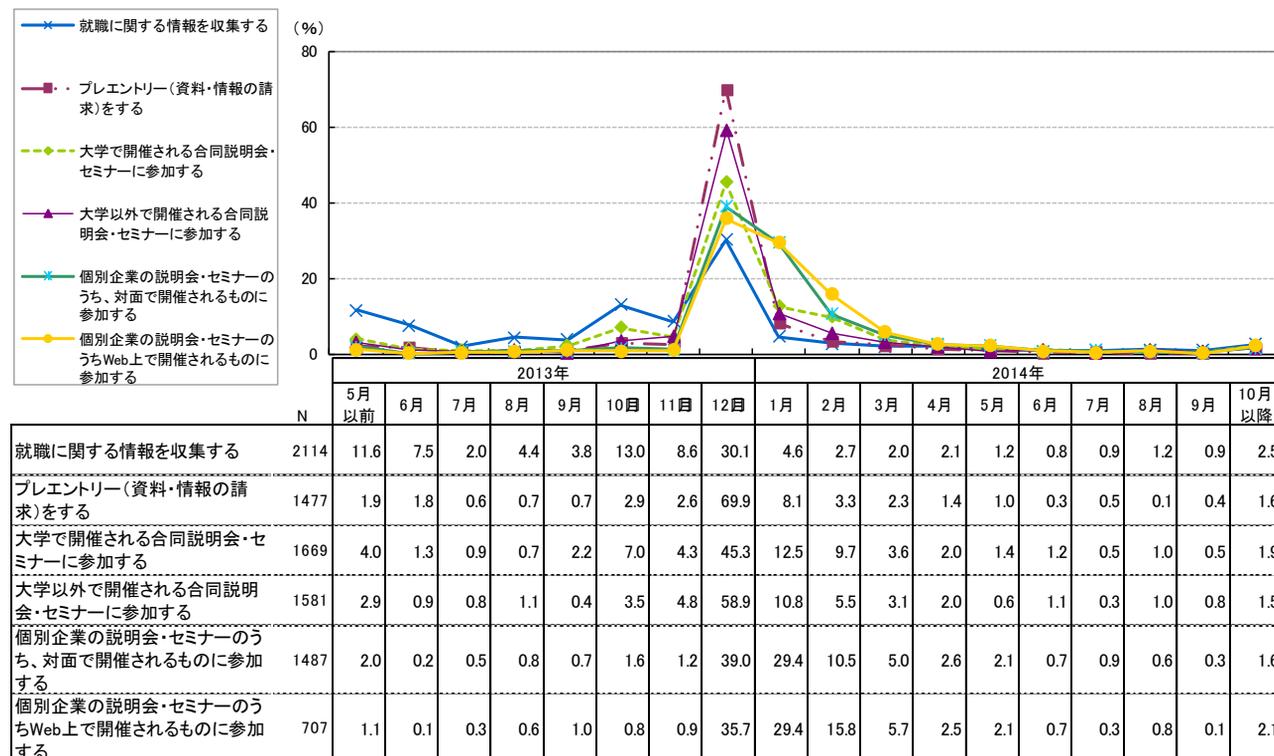
就職活動プロセス毎の開始時期で、開始した学生がもっとも多い月を見る。

まず『選考前』については、いずれのプロセスも「2013年12月」がもっとも多かった。

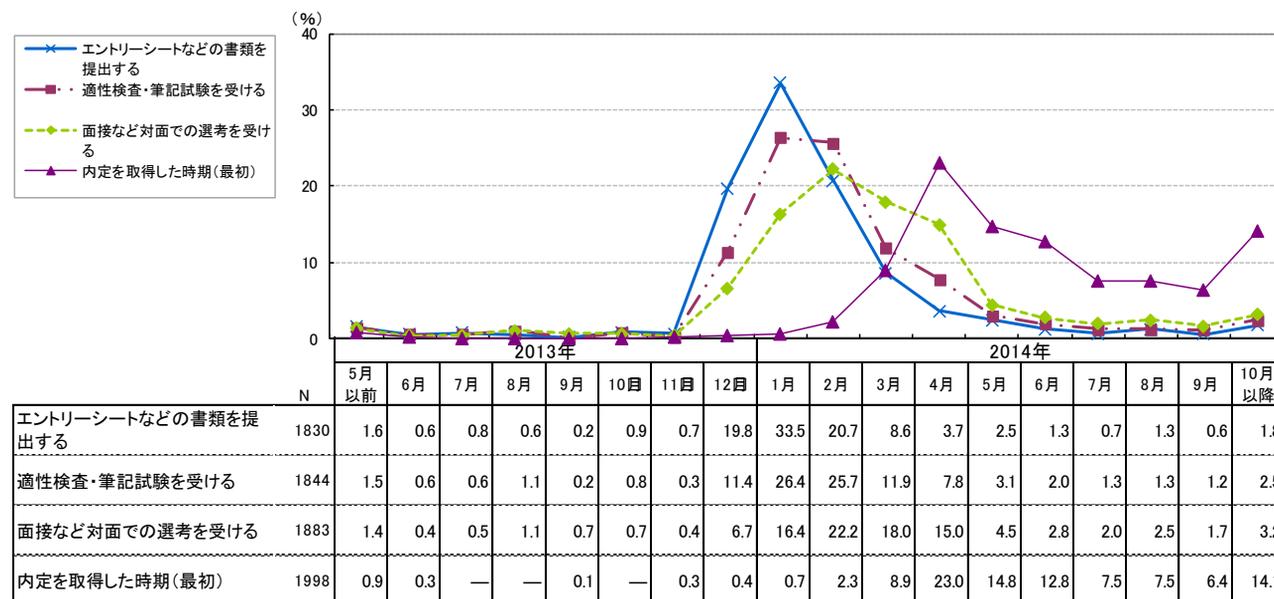
『選考以降』については、「エントリーシートなどの書類を提出する」「適性検査・筆記試験を受ける」は「2014年1月」が多かった。また、「面接など対面での選考を受ける」は、「2014年2月」がもっとも多かった。

「内定を取得した時期(最初)」は、「2014年4月」が多かった。

■就職活動プロセスの開始時期の割合 <選考前> (各プロセスの実施者/それぞれ単一回答)



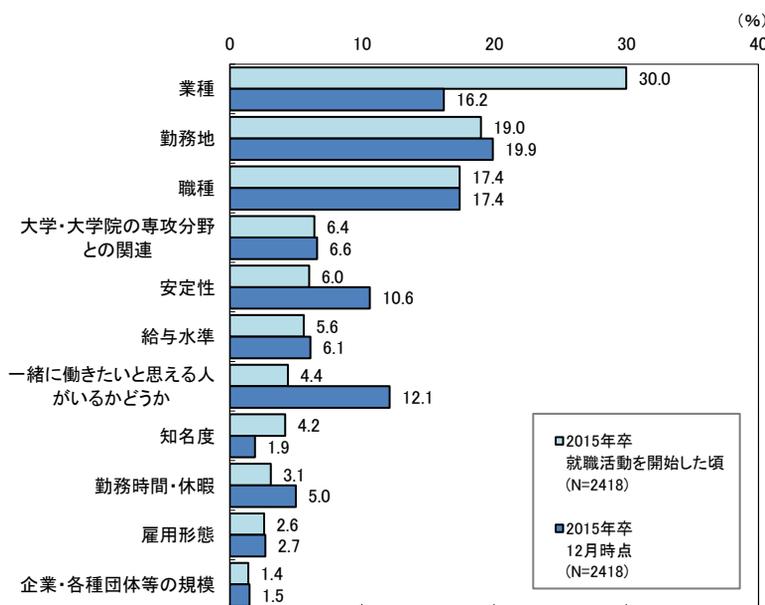
■就職活動プロセスの開始時期の割合 <選考以降> (各プロセスの実施者/それぞれ単一回答)



4) 企業を選ぶときにもっとも重視した条件

企業を選ぶときにもっとも重視した条件について、就職活動を開始した頃と12月時点で見ると、就職活動を開始した頃では「業種」「勤務地」「職種」の順で高かったが、12月時点では「勤務地」「職種」「業種」と項目こそ同じだが、順位は入れ替わった。開始した頃と12月時点との差を見ると、「一緒に働きたいと思える人がいるかどうか」が7.7ポイント増加と、もっとも増加した。

■ 企業を選ぶときにもっとも重視した条件 (就職先決定者および就職活動継続中の学生/単一回答)



	① 就職活動を開始した頃	② 12月時点	②-①の差
N	2418	2418	
業種	30.0	16.2	-13.8
勤務地	19.0	19.9	0.9
職種	17.4	17.4	0.0
大学・大学院の専攻分野との関連	6.4	6.6	0.2
安定性	6.0	10.6	4.6
給与水準	5.6	6.1	0.5
一緒に働きたいと思える人がいるかどうか	4.4	12.1	7.7
知名度	4.2	1.9	-2.3
勤務時間・休暇	3.1	5.0	1.9
雇用形態	2.6	2.7	0.1
企業・各種団体等の規模	1.4	1.5	0.1

5) 内定の取得および辞退状況

12月時点での内定取得者は78.7%と、前年の79.7%とほぼ同水準であった。一方、内定取得者の平均取得社数は2.02社と、前年の1.85社よりも若干増加した。内定を2社以上取得した学生のうち、内定を辞退したことがあるのは98.2%と、前年の96.5%より1.7ポイント増加した。

■ 12月時点の内定を取得した企業の有無 (学生全体/単一回答)

		N (%)		
		N	ある	ない
全体	2015年卒	2539	78.7	21.3
	2014年卒	1610	79.7	20.3

■ 内定を取得した企業の総数 [12月時点] (12月時点で内定を取得している学生/単一回答)

		N (%)							平均社数
		N	1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	
全体	2015年卒	1998	50.0	25.6	12.9	5.2	4.2	2.1	2.02社
	2014年卒	1283	55.3	23.8	12.3	3.9	2.4	2.3	1.85社

■ 内定を辞退した企業の有無 (内定を2社以上取得した学生/単一回答)

		N (%)		
		N	ある	ない
全体	2015年卒	999	98.2	1.8
	2014年卒	575	96.5	3.5

1) 企業の応募学生に対する評価、学生の自己評価

企業の応募学生に対する評価と、学生の自己評価について見る。

まず企業の評価について、「十分・計」が「不十分・計」を上回ったのは、差が大きい順に「働く意欲」「学力」「自己分析」であり、「不十分・計」が「十分・計」を上回ったものはなかった。

次に学生の自己評価について、「十分・計」が「不十分・計」を上回ったものは、「働く意欲」「大学・大学院生としての学力」「自己分析」「仕事・職種研究」、「十分・計」が「不十分・計」を下回ったものは、「将来ビジョンの明確さ」「業界研究」「企業研究」となった。

企業と学生を比較すると、「十分・計」において企業と学生の差が特に大きいのは、「学力」(+14.3ポイント)と「仕事・職種研究」(-13.8ポイント)であった。

■応募学生に対する企業の評価(全体/それぞれ単一回答)

		(%)								
		十分	どちらかという と十分	どちらとも いえない	どちらかという と不十分	不十分	① 十分・ 計	② 不十分・ 計	①-② 差	
●凡例	N									
働く意欲	1150	11.7	47.6		33.4	6.9	0.4	59.3	7.3	52.0
学力	1149	12.4	39.1		38.4	9.7	0.5	51.4	10.2	41.3
将来のビジョン	1151	2.4	25.5	51.2		19.5	1.4	27.9	20.9	7.0
自己分析	1145	3.3	36.0		47.2	12.7	0.8	39.3	13.4	25.9
業界研究	1149	2.7	27.9	40.7		25.5	3.2	30.5	28.7	1.8
仕事・職種研究	1150	1.7	24.8	48.6		22.6	2.3	26.4	25.0	1.5
企業研究	1150	3.7	30.9	39.0		23.7	2.8	34.5	26.4	8.1

■学生の自己評価:学生全体/それぞれ単一回答)

		(%)								
		十分	どちらかという と十分	どちらとも いえない	どちらかという と不十分	不十分	① 十分・ 計	② 不十分・ 計	①-② 差	
●凡例	N									
働く意欲	2539	22.3	37.1		22.0	11.9	6.8	59.4	18.7	40.7
大学・大学院生としての学力	2539	7.9	29.2	31.2		25.4	6.2	37.1	31.6	5.5
将来ビジョンの明確さ	2539	7.9	24.7	28.5		28.8	10.1	32.6	38.9	-6.3
自己分析	2438	6.5	31.8	26.9		22.6	12.1	38.3	34.7	3.6
業界研究	2401	7.1	26.2	26.1		27.4	13.2	33.3	40.6	-7.4
仕事・職種研究	2408	8.3	32.0	28.1		21.7	10.0	40.2	31.7	8.6
企業研究	2415	7.3	29.1	26.4		25.1	12.1	36.4	37.2	-0.8

■企業と学生の「十分・計」の差

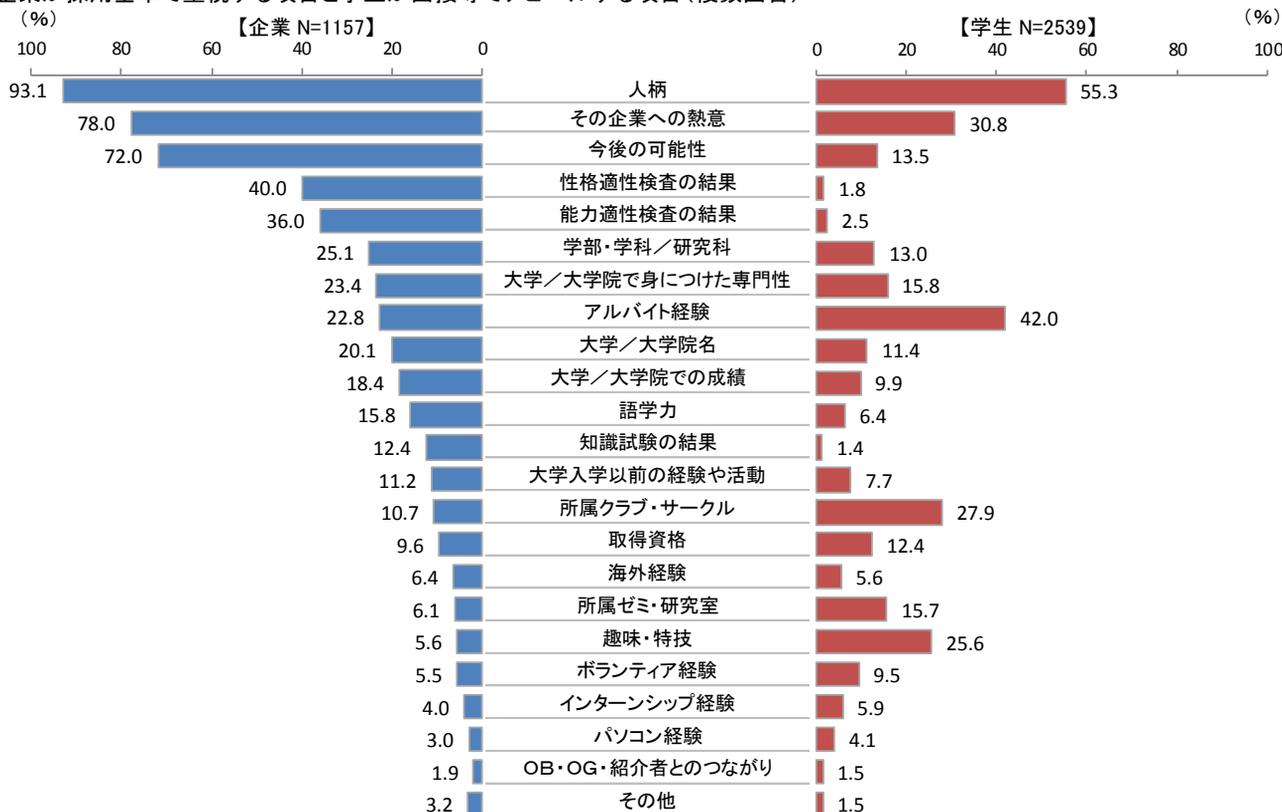
	「企業」-「学生」 の差
働く意欲	-0.1
学力	14.3
将来のビジョン	-4.7
自己分析	1.0
業界研究	-2.7
仕事・職種研究	-13.8
企業研究	-1.9

※データは無回答サンプルを除いて集計

2) 企業が採用基準で重視する項目、学生が面接等でアピールする項目

企業が採用基準で重視する項目と、学生が面接等でアピールする項目を比較する。
 企業が重視している項目は「人柄」「その企業への熱意」「今後の可能性」が圧倒的に高かった。
 一方、学生がアピールしている項目は、「人柄」「アルバイト経験」「その企業への熱意」の順となった。

■ 企業が採用基準で重視する項目と学生が面接等でアピールする項目(複数回答)



□ 従業員規模・業種別 企業が採用基準で重視する項目(複数回答)

	全体	従業員規模				業種				
		300人未満	300~999人	1000~4999人	5000人以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・情報業
N	1157	225	414	372	123	76	423	215	140	283
人柄	93.1	92.4	92.8	93.3	95.1	96.1	91.0	96.7	95.7	91.2
その企業への熱意	78.0	77.3	76.3	79.8	82.1	78.9	75.4	83.7	80.0	77.4
今後の可能性	72.0	69.3	69.3	73.4	82.1	67.1	72.3	74.0	71.4	71.7
性格適性検査の結果	40.0	35.1	38.6	41.9	44.7	23.7	41.6	40.5	49.3	35.7
能力適性検査の結果	36.0	28.9	37.4	36.8	41.5	26.3	36.9	35.3	45.0	32.9
学部・学科/研究科	25.1	20.4	30.0	25.5	15.4	55.3	40.9	7.9	6.4	15.5
大学/大学院で身につけた専門性	23.4	19.6	22.7	23.4	34.1	32.9	39.2	9.3	8.6	15.5
アルバイト経験	22.8	22.2	21.7	23.7	25.2	22.4	18.2	30.2	23.6	23.7
大学/大学院名	20.1	14.2	22.5	24.5	10.6	22.4	27.2	15.8	15.0	14.8
大学/大学院での成績	18.4	17.3	17.6	20.4	16.3	13.2	27.0	8.8	21.4	12.7
語学力	15.8	11.6	15.2	18.3	18.7	2.6	28.8	8.4	4.3	11.3
知識試験の結果	12.4	12.4	15.5	8.9	13.0	7.9	11.6	13.0	16.4	12.4
大学入学以前の経験や活動	11.2	12.9	9.7	13.7	6.5	14.5	9.2	10.7	20.0	9.5
所属クラブ・サークル	10.7	11.6	9.7	12.4	8.1	14.5	11.8	11.6	10.0	7.8
取得資格	9.6	12.9	9.9	7.8	8.1	15.8	6.9	8.4	14.3	10.6
海外経験	6.4	4.0	5.1	7.8	12.2	2.6	11.8	5.6	1.4	2.8
所属ゼミ・研究室	6.1	3.6	5.3	7.5	10.6	9.2	9.2	4.7	3.6	3.5
趣味・特技	5.6	8.0	6.3	4.6	3.3	5.3	4.3	5.6	9.3	6.4
ボランティア経験	5.5	4.0	5.1	6.5	7.3	3.9	4.5	7.0	9.3	4.6
インターンシップ経験	4.0	3.6	4.1	3.5	6.5	11.8	2.6	4.7	2.9	4.2
パソコン経験	3.0	6.7	2.2	2.4	0.8	2.6	1.9	2.8	2.1	5.3
OB・OG・紹介者とのつながり	1.9	1.3	1.7	3.0	0.8	1.3	2.1	1.9	1.4	2.1
その他	3.2	4.4	2.9	2.2	4.9	5.3	1.7	2.8	3.6	4.9

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種不明・無回答企業があるため、規模別、業種別の計と全体は一致しない

1) 2016年卒以降の採用スケジュール変更による影響の見通し

2016年卒以降の採用スケジュール変更による、影響の見通しについて見る。

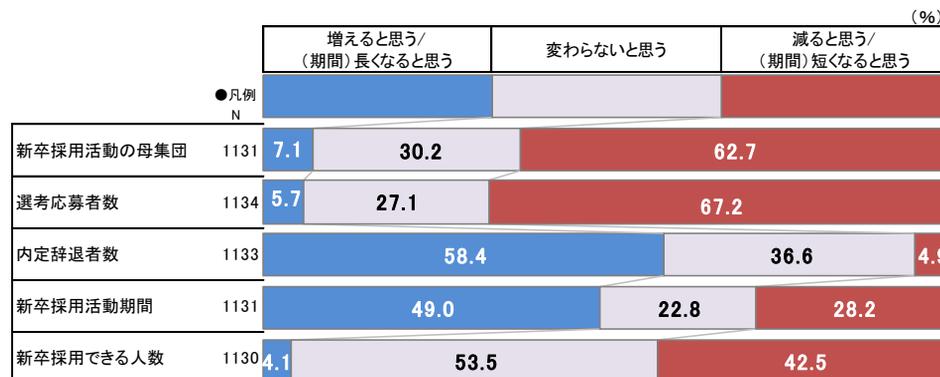
「新卒採用活動の母集団」「選考応募者数」について、「減ると思う」と予想している企業は6割を超えた。

「内定辞退者数」は、「増えると思う」と予想している企業は6割近くとなった。

「新卒採用活動期間」については、「変わらないと思う」が2割超ではあるものの、「長くなると思う」と予想している企業が約半数となった。

「新卒採用できる人数」は、「変わらないと思う」が半数強ではあるが、「減ると思う」と予想している企業は4割強となった。

■ 2016年卒以降の採用スケジュール変更による見通し(前年採用実績企業/それぞれ単一回答)



□ 従業員規模・業種別 2016年卒以降の採用スケジュール変更による見通し

(%)

	全体	300人 未満	300~ 999人	1000~ 4999人	5000人 以上	建設業	製造業	流通業	金融業	サービス・ 情報業
新卒採用活動の母集団	N 1131	212	404	372	121	75	414	213	136	273
増えると思う	7.1	10.4	5.2	5.4	11.6	5.3	6.0	8.9	10.3	5.5
変わらないと思う	30.2	42.9	28.2	24.7	31.4	32.0	24.6	28.6	36.0	36.3
減ると思う	62.7	46.7	66.6	69.9	57.0	62.7	69.3	62.4	53.7	58.2
選考応募者数	N 1134	214	407	371	120	75	415	213	137	274
増えると思う	5.7	8.4	3.9	5.9	6.7	4.0	4.8	7.0	8.0	5.5
変わらないと思う	27.1	38.8	27.3	19.9	26.7	25.3	24.3	23.0	29.9	32.8
減ると思う	67.2	52.8	68.8	74.1	66.7	70.7	70.8	70.0	62.0	61.7
内定辞退者数	N 1133	214	406	370	121	75	412	213	138	275
増えると思う	58.4	44.9	59.1	64.3	64.5	54.7	60.4	62.4	59.4	54.2
変わらないと思う	36.6	50.9	36.2	29.7	30.6	42.7	35.0	30.5	37.0	40.4
減ると思う	4.9	4.2	4.7	5.9	5.0	2.7	4.6	7.0	3.6	5.5
新卒採用活動期間	N 1131	215	404	370	120	75	412	213	138	273
長くなると思う	49.0	34.0	45.8	58.1	62.5	56.0	52.2	48.8	44.9	46.2
変わらないと思う	22.8	34.9	24.5	16.8	13.3	14.7	23.3	19.7	18.8	28.2
短くなると思う	28.2	31.2	29.7	25.1	24.2	29.3	24.5	31.5	36.2	25.6
新卒採用できる人数	N 1130	213	407	369	119	74	414	210	138	274
増えると思う	4.1	4.2	2.9	5.1	5.0	4.1	2.4	6.7	3.6	5.1
変わらないと思う	53.5	57.3	51.1	52.0	55.5	39.2	55.6	46.7	58.7	55.1
減ると思う	42.5	38.5	45.9	42.8	39.5	56.8	42.0	46.7	37.7	39.8

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種不明・無回答企業があるため、規模別、業種別の計と全体は一致しない

2) 採用活動スケジュールの2015年卒と2016年卒との比較 —プロセス毎の開始時期①—

2016年卒の採用活動スケジュールを、2015年卒のものと比較して見る。

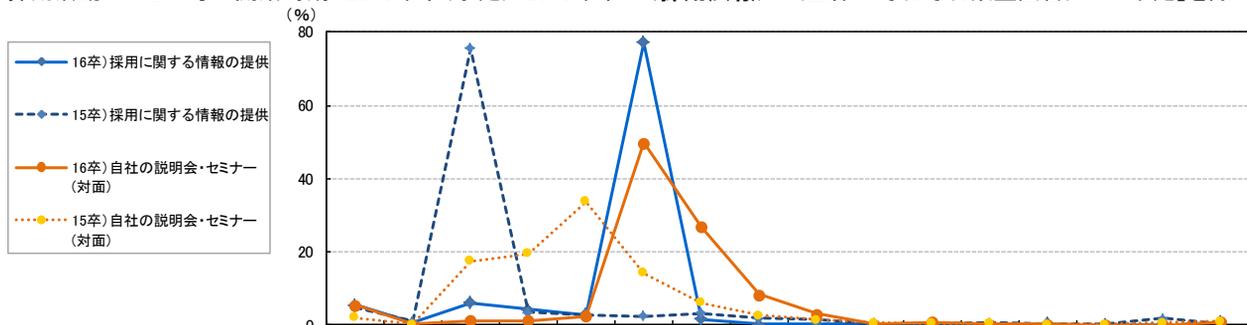
まず『採用広報』について、「採用に関する情報の提供」の開始月は、約8割の企業が「2015年3月」としており、2015年卒の「2013年12月」とほぼ同水準であった。

一方、「自社の説明会・セミナー（対面）」は、約5割の企業が「2015年3月」に開始するとしており、ピークが「採用に関する情報の提供」と同一月となった。2015年卒では、「採用に関する情報提供」「自社の説明会・セミナー（対面）」の開始ピークはそれぞれ「2013年12月」「2014年2月」であり、2か月間のギャップがあった。それと比較すると、2016年卒採用においては、説明会・セミナー開催の前倒し傾向があると言える。

いわゆる「広報解禁前」の2月までに「情報提供」「説明会・セミナー」を始める企業の割合は、2016年卒でそれぞれ19.1%、10.2%となっており、2015年卒と比較すると、「情報提供」で13.4ポイント、「説明会・セミナー」で8.2ポイント増加した。

調査時点において「未定」と回答した企業の割合は、「採用に関する情報の提供」で14.4%、「自社の説明会・セミナー（対面）」で23.1%となった。

■採用活動プロセス毎の開始時期 2016年卒(予定)・2015年卒 <採用広報> (全体/それぞれ数量回答) ※「未定」を除く



	2016卒 2015卒 N	2014年		2015年												2016年 2015年 1月以降 の累計			
		10月 以前	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		12月		
16卒) 採用に関する情報の提供	907	5.5	0.6	6.0	4.2	2.9	77.3	1.7	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	—	—	0.7	19.1
15卒) 採用に関する情報の提供	1015	4.7	1.0	75.6	3.4	2.9	2.5	3.3	1.7	1.4	0.4	0.4	0.5	0.2	0.1	1.7	0.4	5.7	
16卒) 自社の説明会・セミナー(対面)	787	5.5	0.1	1.1	1.1	2.3	49.8	26.8	8.3	3.0	0.1	0.8	0.1	0.1	—	—	0.8	10.2	
15卒) 自社の説明会・セミナー(対面)	984	1.9	0.1	17.4	19.5	33.6	14.2	6.0	2.5	1.4	0.6	0.4	0.4	0.2	0.1	0.5	1.0	2.0	

※「広報開始月までの累計」 2016年卒:2015年2月まで 2015年卒:2013年11月まで

□従業員規模・業種別 採用活動プロセス毎の開始時期 2016年卒(予定) ※「未定」含む

	N	2014年			2015年												2016年 2015年 1月以降 の累計	未定		
		10月 以前	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
採用に関する情報の提供																				
全体		1059	4.7	0.5	5.1	3.6	2.5	66.2	1.4	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.4	—	—	0.6	16.3	14.4
従業員規模	300人未満	189	5.8	0.5	3.7	5.8	4.8	43.9	3.2	0.5	1.1	—	0.5	0.5	1.1	—	—	1.1	20.6	27.5
	300~999人	383	5.5	0.3	4.4	3.9	2.9	65.3	1.3	0.3	0.3	—	—	—	0.3	—	—	—	17.0	15.7
	1000~4999人	353	3.7	0.6	7.1	2.3	1.1	74.5	0.8	—	—	—	—	—	0.3	—	—	0.8	14.7	8.8
	5000人以上	115	4.3	0.9	4.3	2.6	1.7	77.4	0.9	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	13.9	7.0
業種	建設業	68	5.9	1.5	2.9	1.5	4.4	69.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.5	16.2	13.2
	製造業	389	4.4	0.5	4.9	4.4	2.1	65.8	1.5	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5	16.2	15.9
	流通業	201	4.5	1.0	7.0	4.5	3.0	68.2	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	19.9	10.4
	金融業	125	3.2	—	0.8	0.8	1.6	71.2	3.2	—	0.8	—	—	—	—	—	—	—	6.4	18.4
	サービス・情報業	258	6.2	—	7.0	3.5	2.7	60.9	1.6	0.8	0.8	—	0.4	0.4	1.6	—	—	0.4	19.4	14.0
自社の説明会・セミナー(対面)																				
全体		1023	4.2	0.1	0.9	0.9	1.8	38.3	20.6	6.4	2.3	0.1	0.6	0.1	0.1	—	—	0.6	7.8	23.1
従業員規模	300人未満	173	6.9	0.6	—	1.7	2.9	23.1	15.6	5.2	4.0	—	1.2	0.6	0.6	—	—	0.6	12.1	37.0
	300~999人	370	4.1	—	1.1	1.1	2.2	35.9	19.5	6.5	2.7	—	1.1	—	—	—	—	0.3	8.4	25.7
	1000~4999人	349	3.4	—	0.9	0.6	0.9	40.4	25.8	7.4	1.4	0.3	—	—	—	—	—	0.9	5.7	18.1
	5000人以上	116	3.4	—	1.7	—	1.7	59.5	15.5	4.3	1.7	—	—	—	—	—	—	0.9	6.9	11.2
業種	建設業	69	4.3	—	1.4	—	1.4	43.5	13.0	5.8	2.9	—	—	—	—	—	—	1.4	7.2	26.1
	製造業	379	4.7	—	0.5	0.5	1.6	32.5	24.8	7.7	1.8	—	0.8	—	—	—	—	0.5	7.4	24.5
	流通業	200	5.0	0.5	2.5	1.5	2.0	43.5	17.5	5.5	3.0	0.5	—	—	0.5	—	—	1.0	11.5	17.0
	金融業	123	2.4	—	—	—	0.8	32.5	22.8	7.3	4.1	—	—	—	—	—	—	—	3.3	30.1
	サービス・情報業	239	3.8	—	0.4	1.7	2.5	43.9	17.2	4.6	1.7	—	1.3	0.4	—	—	—	0.4	8.4	22.2

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種不明・無回答企業があるため、規模別、業種別の計と全体は一致しない

2) 採用活動スケジュールの2015年卒と2016年卒との比較 -プロセス毎の開始時期②-

2016年卒の採用活動スケジュールについて、『採用選考』に関するものを、2015年卒と比較して見る。

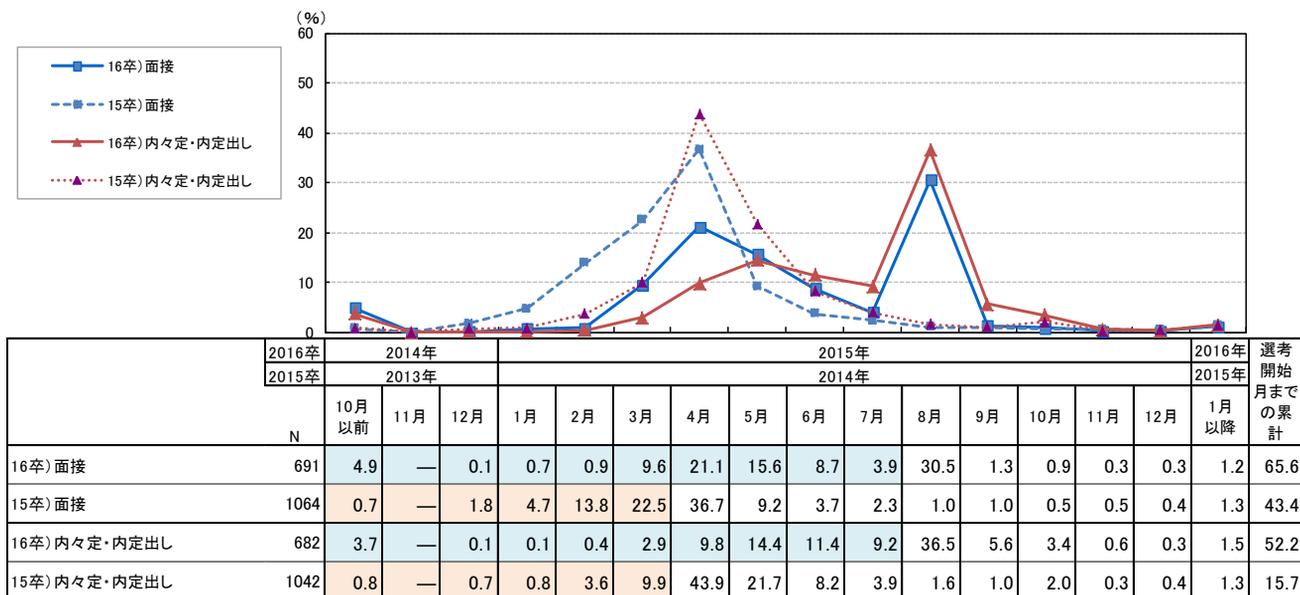
「面接」の最大値は「2015年8月」で、2015年卒の「2014年4月」から4か月遅れとなったが、その値は30.5%と、前年ピーク月である2014年4月の36.7%と比較すると、6.2ポイントの減少である。

「内々定・内定出し」の最大値も「2015年8月」で、「面接」同様ピーク月は4月から8月へと4か月遅れとなった。また、その値は36.5%と、前年ピーク月の2014年4月の43.9%からすると、7.4ポイント減少した。

いわゆる「選考解禁前」の8月までに「面接」「内々定・内定出し」を始める企業の割合は、2016年卒でそれぞれ65.6%、52.2%となっており、2015年卒と比較すると、「面接」で22.2ポイント、「内々定・内定出し」で36.5ポイント増加している。

調査時点において「未定」と回答した企業の割合は、「面接」で36.1%、「内々定・内定出し」で36.6%となった。

■ 採用活動プロセス毎の開始時期 2016年卒(予定)・2015年卒<採用選考> (全体/それぞれ数量回答) ※「未定」を除く



※「選考開始月までの累計」 2016年卒:2015年7月まで 2015年卒:2014年3月まで

□ 従業員規模・業種別 採用活動プロセス毎の開始時期 2016年卒(予定) ※「未定」含む

業種	従業員規模	N	2015年												2016年 1月以降	2015年 7月までの累計	未定					
			10月以前	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				10月	11月	12月		
面接			全体	1081	3.1	—	0.1	0.5	0.6	6.1	13.5	10.0	5.6	2.5	19.5	0.8	0.6	0.2	0.2	0.7	41.9	36.1
従業員規模	300人未満	200	3.5	—	—	1.0	0.5	4.0	8.5	10.0	7.0	4.0	10.0	1.5	2.5	—	1.0	0.5	0.5	38.5	46.0	
	300~999人	389	3.9	—	0.3	0.3	0.8	6.9	14.1	10.0	6.4	2.8	15.4	1.5	0.3	0.5	—	0.5	0.5	45.5	36.2	
	1000~4999人	353	2.5	—	—	0.6	0.6	4.5	14.2	11.6	4.2	2.0	22.9	—	—	—	—	1.1	1.1	40.2	35.7	
	5000人以上	118	1.7	—	—	—	—	12.7	16.1	5.9	1.7	0.8	39.0	—	—	—	—	0.8	0.8	39.0	21.2	
	建設業	72	1.4	—	1.4	—	—	6.9	19.4	11.1	5.6	5.6	9.7	1.4	—	—	—	1.4	1.4	51.4	36.1	
業種	製造業	392	3.6	—	—	—	0.8	2.8	12.2	11.2	5.4	2.8	22.2	0.5	—	—	—	1.0	1.0	38.8	37.5	
	流通業	203	3.9	—	—	2.0	0.5	10.8	16.7	14.8	8.9	2.0	9.4	0.5	0.5	—	—	1.0	1.0	59.6	29.1	
	金融業	133	2.3	—	—	—	—	1.5	4.5	4.5	3.0	3.0	32.3	2.3	0.8	—	0.8	—	0.8	18.8	45.1	
	サービス・情報業	262	2.7	—	—	0.4	0.8	9.9	15.3	7.3	3.4	1.5	19.5	0.8	1.5	0.8	0.4	0.4	0.4	41.2	35.5	
	内々定・内定出し			全体	1075	2.3	—	0.1	0.1	0.3	1.9	6.2	9.1	7.3	5.9	23.2	3.5	2.1	0.4	0.2	0.9	33.1
従業員規模	300人未満	196	2.0	—	—	—	0.5	2.0	5.1	6.6	5.1	8.7	12.2	3.1	5.1	0.5	1.0	1.0	1.0	30.1	46.9	
	300~999人	387	3.4	—	0.3	0.3	—	2.6	5.9	9.8	7.8	7.0	17.6	4.1	2.1	0.8	—	0.8	0.8	37.0	37.7	
	1000~4999人	354	1.7	—	—	—	0.6	1.1	4.8	9.6	8.5	4.2	28.0	3.4	1.1	—	—	1.1	1.1	30.5	35.9	
	5000人以上	117	0.9	—	—	—	—	1.7	12.0	9.4	5.1	1.7	47.0	1.7	0.9	—	—	0.9	0.9	30.8	18.8	
	建設業	72	1.4	—	1.4	—	—	1.4	8.3	13.9	9.7	4.2	19.4	—	2.8	—	—	1.4	1.4	40.3	36.1	
業種	製造業	392	3.3	—	—	—	—	1.8	3.3	6.9	8.2	6.4	28.3	2.6	1.5	0.3	—	1.0	1.0	29.8	36.5	
	流通業	202	2.5	—	—	0.5	1.5	1.5	10.4	15.3	9.4	7.9	13.4	2.0	3.0	0.5	0.5	1.0	1.0	49.0	30.7	
	金融業	132	0.8	—	—	—	—	—	1.5	2.3	3.8	3.8	31.8	9.8	3.0	—	—	0.8	0.8	12.1	42.4	
	サービス・情報業	258	1.6	—	—	—	—	3.5	8.9	9.7	5.0	4.7	20.2	3.5	1.9	0.8	0.4	0.8	0.8	33.3	39.1	

※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模や業種不明・無回答企業があるため、規模別、業種別の計と全体は一致しない

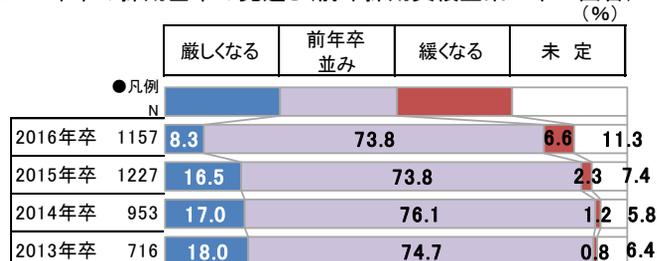
3) 採用基準の見通し/採用数が満たなかった場合の対応予定

2016年卒の採用基準の見通しは、「前年卒並み」が73.8%と最も多く、前年の見通しと同水準であったが、「厳しくなる」は、前回回答よりも8.2ポイント減少し、「緩くなる」は4.3ポイント増加した。

2013年卒からの経年で見ると、「前年並み」がもっと多いものの、「厳しくなる」は減少し、「緩くなる」「未定」の増加傾向が見られた。

従業員規模別に見ると、いずれの規模でも「2015年卒並み」が最も多く、前年と同水準であった。しかし、いずれの規模でも「厳しくなる」は前年よりも減少した一方で、「緩くなる」は増加した。

■2016年卒の採用基準の見通し(前年採用実績企業/単一回答)



□従業員規模別に見た、2016年卒の採用基準の見通し

(%)

総数 N=今回/前回		厳しくなる	2015年卒並み	緩くなる	未定
全体	1157/1227	8.3 (-8.2)	73.8 (-0.0)	6.6 (4.3)	11.3 (3.9)
従業員規模	300人未満 226/242	11.9 (-5.0)	69.9 (-3.6)	5.8 (4.5)	12.4 (4.1)
	300~999人 416/402	7.5 (-10.5)	75.5 (3.3)	7.0 (3.5)	10.1 (3.6)
	1000~4999人 371/357	8.1 (-7.0)	72.8 (-3.4)	6.7 (5.1)	12.4 (5.4)
	5000人以上 121/90	5.8 (-3.1)	76.0 (-1.7)	6.6 (5.5)	11.6 (-0.7)

採用数が満たなかった場合の対応については、2016年卒では「未定」が4割近くであるものの、「採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」が49.5%と半数近くであった。また、「採用数を満たすために基準を見直し、柔軟に対応する」が13.1%で、前年より3.3ポイント増加した。

2013年卒からの経年で見ると、「採用数を満たすために基準を見直し、柔軟に対応する」の増加傾向が見られた。

従業員規模別に見ると、1000~4999人企業以外は、「採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない」が半数以上であり、前年よりも若干ではあるが増加しているが、1000~4999人企業は前年よりも8.9ポイント減少し、半数を下回った。また、「採用数を満たすために基準を見直し、柔軟に対応する」は、いずれの規模も前年より増加し、特に5000人以上企業は、5.9ポイント増加した。

■2016年卒の採用数が満たなかった場合の対応予定(前年採用実績企業/単一回答)



□従業員規模別に見た、2016年卒の採用数が満たなかった場合の対応予定

(%)

総数 (N=今回/前回)		採用数を満たすために基準を見直し、柔軟に対応する	採用数に満たなくても求める人材レベルは下げない	未定(その時の状況による)
全体	1126/1170	13.1 (3.3)	49.5 (-2.4)	37.4 (-0.9)
従業員規模	300人未満 210/224	12.9 (2.6)	51.0 (1.0)	36.2 (-3.5)
	300~999人 404/385	12.9 (3.5)	53.0 (1.5)	34.2 (-5.1)
	1000~4999人 365/347	13.7 (3.6)	44.7 (-8.9)	41.6 (5.3)
	5000人以上 125/88	10.4 (5.9)	50.4 (2.7)	39.2 (-8.5)

※カッコ内の数値は前回調査との差
 ※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない

4) 外国人留学生等の採用実施の見通し

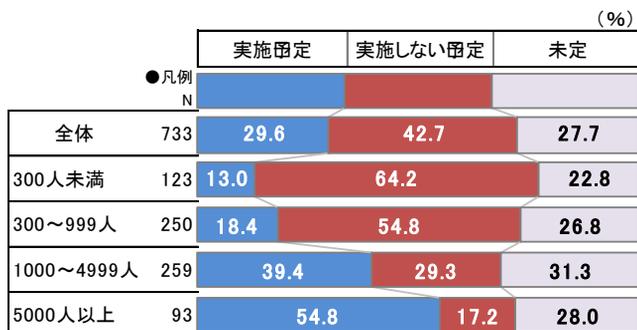
2016年卒に対する採用対象ごとの実施の見通しについて、「日本の大学（院）卒の外国人留学生採用」「海外の大学（院）卒の外国人学生採用」「海外の大学（院）卒の日本人留学生採用」「既卒者の採用」について見る。

いずれの採用においても、「未定」が2~4割台であるものの、実施予定で2割を超えているものは、「日本の大学（院）卒の外国人留学生」（29.6%）、「既卒者」（39.1%）である。

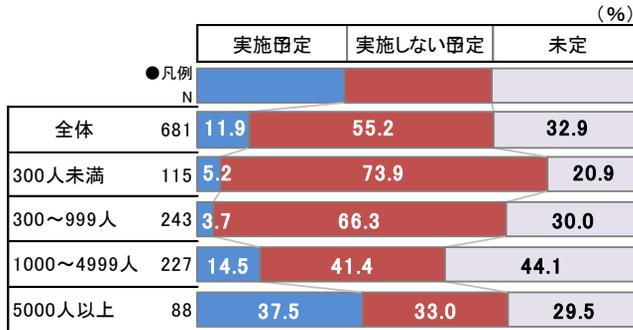
2015年卒の実施状況と比較すると、いずれも2016年卒の「実施予定」が上回っており、特に、既卒者の採用については、10.0ポイントほど増加する傾向が見られる。

■2016年卒新卒採用における外国人留学生等の採用実施の見通し(それぞれ単一回答)

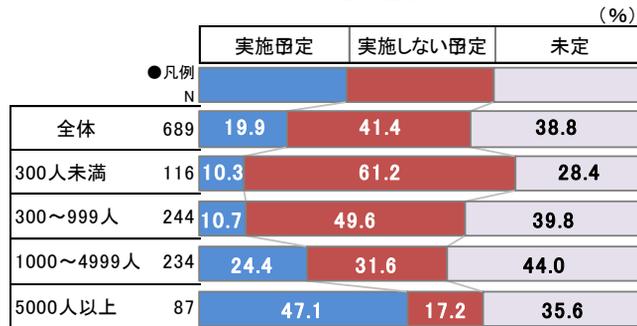
□日本の大学(院)卒の外国人留学生採用



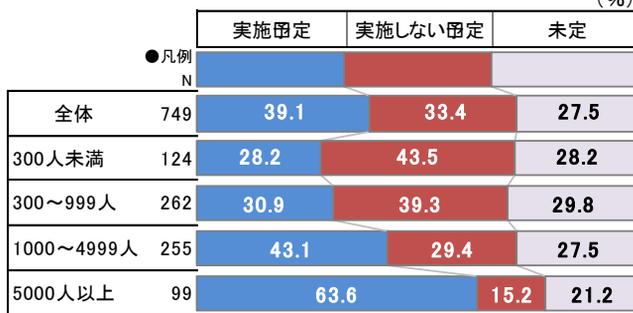
□海外の大学(院)卒の外国人学生採用



□海外の大学(院)卒の日本人留学生採用



□既卒者(大学・大学院卒業後3年以内)の採用



■2015年卒新卒採用における外国人留学生等の採用実施状況(それぞれ単一回答)

		実施状況 (%)				
		総数(N) 今回/前回	日本の大学 (院)卒の外国 人留学生採用	海外の大学 (院)卒の外国 人学生採用	海外の大学 (院)卒の日本 人留学生採用	既卒者の採用
全体		1053/1124	23.6 (2.7)	7.9 (1.3)	11.8 (0.6)	29.2 (2.5)
従業員規模	300人未満	203/240	9.4 (4.4)	2.5 (1.6)	4.9 (2.8)	18.2 (1.6)
	300~999人	374/366	14.4 (-1.7)	2.4 (-2.2)	5.9 (-2.9)	23.8 (0.6)
	1000~4999人	334/315	34.4 (2.4)	9.3 (0.4)	14.7 (0.1)	32.9 (1.2)
	5000人以上	121/85	48.8 (5.2)	30.6 (9.4)	34.7 (4.1)	54.5 (4.0)

※カッコ内の数値は前回調査との差
 ※データは無回答サンプルを除いて集計
 ※従業員規模不明・無回答企業があるため、規模別の計と全体は一致しない